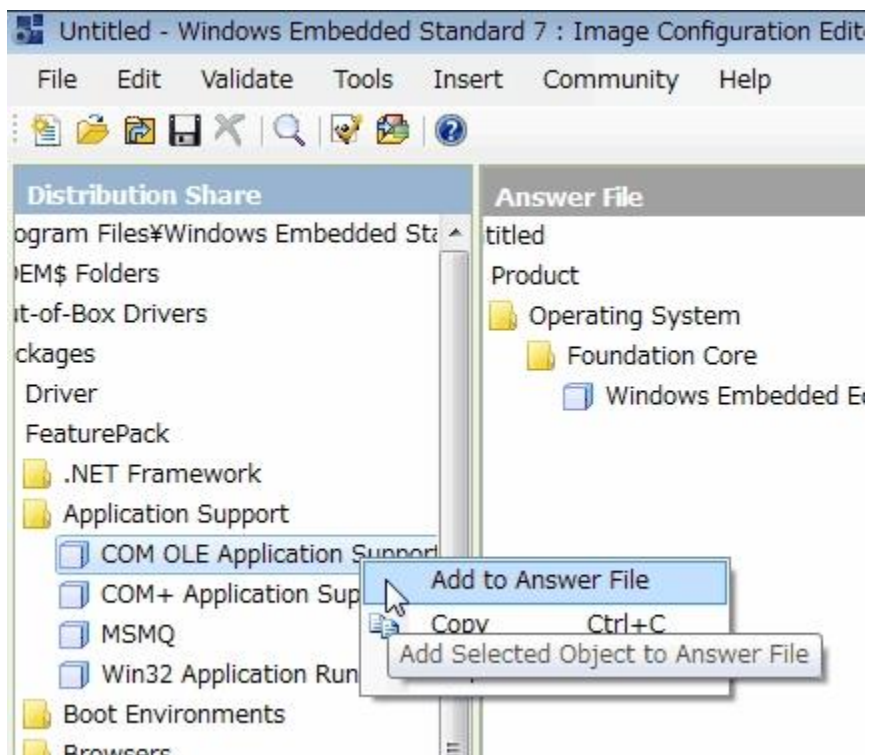


Windows Embedded Standard 7 へのドライバ組み込み手順

1. Tap.exe でターゲット PC のハードウェア情報を取得
2. ICE (Image Configuration Editor) で新規に Answer File を作成
 デバイス情報を PMQ ファイルからインポートします
3. ドライバに必要なコンポーネントの追加
 「Distribution Share」から次の 1~3 の 3 つのコンポーネントを「Answer File」に追加します。
 1. ¥FeaturePack¥Application Support¥COM OLE Application Support
 2. ¥FeaturePack¥Devices and Printers¥Device Framework
 3. ¥FeaturePack¥User Interface¥Tablet PC Support



4. TPS のWEB からドライバのダウンロード

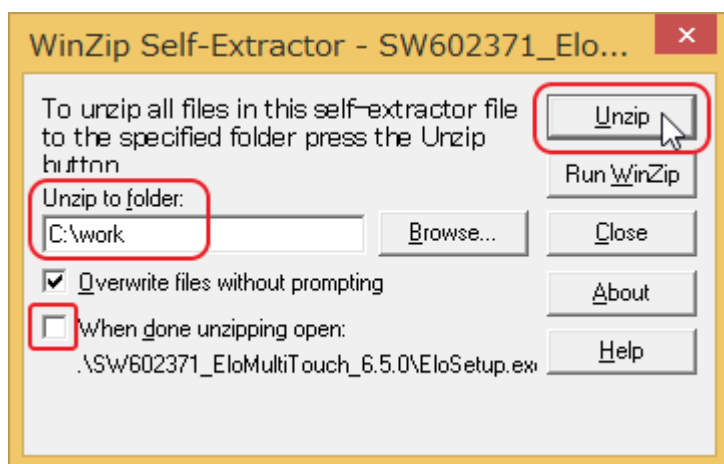
下記のアドレスから「Windows Touch 用（デジタイザー）ドライバ」をダウンロードしてください。

<http://tps.co.jp/downloads/others/default.asp>

Windows Touch用（デジタイザー）ドライバ				
OS	接続タイプ	ドライバ名	ドライバダウンロード	注意事項
Windows 8.1 Windows 8 Windows 7	USB RS-232C	Elo Touch Solutions Multi-Touch Driver 6.5.0	ダウンロード (11.9MB) README (日本語) ユーザー マニュアル	・ Windowsロゴ認証済 ・ マルチタッチ対応
Windows Embedded Standard 7	USB RS-232C	-	組み込み手順書 を参照していただき、Windows 7用のドライバをご使用ください	-

ダウンロードした「SW602371_EloMultiTouch_6.5.0.exe」をダブルクリックして解凍します。

「When done unzipping open」のチェックを外して、解凍先のフォルダを指定した後、「Unzip」ボタンをクリックします。



5. ドライバを DSSP1 のフォルダにコピー

コピー元 : C:\temp\SW602371_EloMultiTouch_6.5.0\

コピー先 : C:\Program Files\Windows Embedded Standard 7\

DSSP1\OEM\$ Folders\EloTouch\OEM\$1\SW602371_EloMultiTouch_6.5.0

「Distribution Share」の「\$OEM\$ Folders」に「EloTouch」が追加されます。

6. タッチパネル・ドライバの追加

「EloTouch」を右クリックして「Insert Oem Folders Path」をクリックして、「Answer File」に追加します。

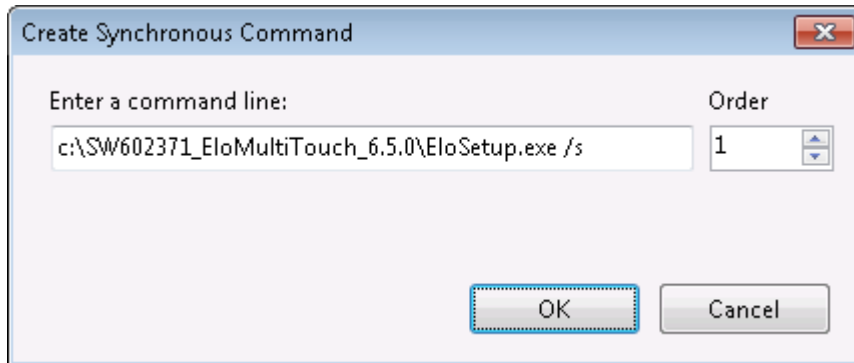
7. ドライバ・インストールのコマンドを追加

ICE のメニューから

Insert => Synchronous Command => Pass 4 specialize...

を選択して、次のコマンドを入力します。

C:\SW602371_EloMultiTouch_6.5.0\EloSetup.exe /s



8. ICE のメニューからパッケージの依存関係チェック

ICE のメニューから

Validate => Add Required Package

を実行します。

「Messages」に×（エラー）の項目がある場合は、問題を解決します。

もう一度、ICE のメニューから

Validate => Add Required Package

を実行して、×（エラー）がないことを確認します。

9. IBW イメージを作成

ICE のメニューから

Tools => Create Media Create IBW Image From Answer File...

を選択して、IBW イメージを作成

10. ターゲット PC への展開

作成したイメージを USB メモリなどにコピーして、ターゲット PC で起動して、ターゲット PC に展開

—以上—